

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	人の関心をより引きつける話し方が身に付くバーチャル・リアリティ技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	九州大学 大学院芸術工学研究院 助教 冬野 美晴

1. SCORE での活動目的

九州大学が保有する技術シーズである「パブリックスピーキング支援装置、及びプログラム」(特許請求中)を用いて、COVID-19の影響下で更なる市場拡大が予想されるEdTech市場において、本技術の社会還元の可能性を試作と検証の繰り返しにより探ることを目的とする。想定顧客の調査、および顧客ニーズとペインの確認を行い、今後の活動指針とする。また、顧客調査の結果に基づき、プロトタイプの改善を図る。

2. 総合所見

事業化仮説に基づき、サービスの導入効果について質問項目を明確にしたインタビューを実施した点や、顧客候補やベンダーとの積極的に面談によりサービス内容を具体化した点を評価する。事業終了後も知財の確保や助成金の獲得などを進めており、事業化を実現することに期待する。

以上